自己評価報告書

平成 23 年 5 月 13 日現在

機関番号: 22304 研究種目:基盤研究(C) 研究期間:2008 ~ 2011 課題番号: 20592483

研究課題名(和文) 新人看護師の指導を担当するプリセプター養成を目的とした教育プログ

ラムの開発

研究課題名 (英文) Development of educational program of Preceptor that guides new

graduate nurse

研究代表者

吉富 美佐江 (YOSHITOMI MISAE)

群馬県立県民健康科学大学・看護学部・准教授

研究者番号:30456462

研究分野:看護教育学

科研費の分科・細目:看護学・基礎看護学

キーワード:看護教育学、新人看護師教育のためのプリセプターシップ

1. 研究計画の概要

(1)本研究課題の目的

本研究の最終目的は、国民の多様化しているニードに対応できる看護を提供できる看護職者の育成を目指し、病院に就業する新人看護師への効果的な指導を実施できるプリセプター養成を目的とした教育プログラムの開発である。

(2)本研究課題の内容

本研究は、次の4段階を経て、研究目的の 達成を目指す。

- ①「新人看護師の指導を担当するプリセプターのロールモデル行動」を解明する。
- ②「教育ニードアセスメントツール (プリセプター用)」を開発する。
- ③「新人看護師の指導を担当するプリセプターの学習ニード」を解明する。
- ④「学習ニードアセスメントツール (プリセプター用)」を開発する。

2. 研究の進捗状況

(1)プリセプターが知覚するプリセプターとしてのロールモデル行動を表した自由記述を分析対象とした。ベレルソンの方法論を参考にした看護教育学における内容分析の手法を用いて、プリセプターのロールモデル行動を示す記録単位を意味内容の類似性に基づき分類・カテゴリ名を命名した。その結果、プリセプターが知覚するロールモデル行動を表す32カテゴリが形成された。

(2)全国調査を実施、プリセプターの学習ニードを表した自由記述データを収集した。収集したデータのうち、分析対象となる記録単位を精選して分析を進めている途中である。

3. 現在までの達成度

③やや遅れている。

(理由)

プリセプターのロールモデル行動を表すカテゴリを明らかにした後、プリセプターのロールモデル行動をよりわかりやすく表すカテゴリの形成に向け、再分析を試みた。

また、プリセプターの学習ニードを表すデータ収集に際し、予想を超える研究協力の申し出を得たため、多くの記述データを収集することができた。そのため、計画より分析に時間を要している。

上記の理由により、研究遂行がやや遅れている状況である。

4. 今後の研究の推進方策

(1)研究計画がやや遅れていることに対する推進方策としては、データ分析の作業効率を上げる必要がある。

(2)(1)の方策の効果が上がらない場合、研究計画の変更を含めて、対策を講じる必要がある。具体的には、当初「教育ニードアセスメントツール(プリセプター用)」「学習ニードアセスメントツール(プリセプター用)」の開発までを予定していたが、平成23年度末までに、アセスメントツールの質問項目の作成、専門家会議、パイロットスタディまでは終えることとする。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に は下線)

〔雑誌論文〕(計1件)

①<u>吉富美佐江、舟島なをみ</u>、プリセプター役割自己評価尺度の開発、日本看護学教育学会誌、18(3)、1-10、2009 年、査読有

〔学会発表〕(計4件)

- ①<u>吉富美佐江</u>、新人看護師を指導するプリセプターのロールモデル行動、日本看護教育学学会 20 周年記念大会、2010 年 8 月 24 日、前橋テルサ(前橋市)
- ②吉富美佐江、舟島なをみ、新人看護師を指導するプリセプターの役割遂行上直面する問題、日本看護教育学学会第18回学術集会、2008年8月19日、京葉銀行文化プラザ(千葉市)
- ③吉富美佐江、舟島なをみ、三浦弘恵、プリセプターの役割遂行状況―初回経験者と複数回経験者の差異に焦点を当てて―、日本看護科学学会第 28 回学術集会、2008 年 12 月 14 日、福岡国際会議場(福岡市)
- ④吉富美佐江、舟島なをみ、三浦弘恵、亀岡智美、The Relationships between Preceptor Role Performance for New Graduate Nurses and Preceptors' Attributes in Japan, 19th International Nursing Research Congress Focusing on Evidence-Based Practice, 2008年7月7日-8日、シンガポール

〔図書〕(計1件)

①舟島なをみ監修:吉富美佐江、三浦弘恵、 亀岡智美、定廣和香子、鈴木美和、中山登志 子、松田安弘、宮芝智子、山下暢子、山澄直 美、医学書院、看護実践・教育のための測定 用具ファイル 開発過程から活用の実際ま で第2版、2009 年、307 (87-97)

[産業財産権]

- ○出願状況(計0件)
- ○取得状況(計0件)

〔その他〕 なし